

千代田図書館

千代田区立千代田図書館情報誌

さあ、図書館にいこう。

Vol. 29

Check

8月31日(金)まで朝9時から開館しています。

千代田図書館は、子どもたちの夏休み期間中、通常よりも1時間早い、朝9時から開館しています。夏期の日中は図書館内が混雑しますので、お早めのご来館がおすすめです。皆さまのお越しをお待ちしています。

中高生専用席と中高生向けの本を揃えています。

千代田図書館9階には、区内在住・在学の中高生のための席18席のほか、中高生向けの小説や趣味の本、進路や就職を考えると役に立つ本、調べものの用の本など、さまざまな本を揃えた「中高生コーナー」があります。夏休みの学習にぜひご利用ください。

- 中高生専用席：メインカウンター右奥の窓側
- 中高生コーナー：区民の書斎側24番棚

※館内は蓋がしっかり閉まる飲料以外の飲食はできません。
※皆さまが席を平等にご利用されるよう、荷物を置いたままでの長時間の離席はご遠慮ください。



Illustration_Satoshi Ogawa

Information

展示ウォール

天気をはかる ～気象庁143年をものがたる人と技術～

7月23日(月)～10月27日(土)

天気を予報するためには、気温や雨、風の向きや強さなどの現象を“はかる”こと、すなわち「気象観測」が必要となります。気象庁では、日々の天気予報のほかに、台風や局地的集中豪雨、落雷や竜巻といった気

象の変化を観測し、命を守るための防災情報を提供しています。本展では、地上、高層、レーダー、衛星、南極といった観測の現場をパネルで紹介するほか、関連本を展示・貸し出します。

イベント

調べもの戦隊 レファレンジャー

7月21日(土)～8月31日(金) 各日9:00～17:00

10階=児童書コーナー ※予約不要

自由研究や読書感想文用の本など、夏休みの宿題に役立つ本を、レファレンジャーと一緒に探します。
※8月6日(月)～10日(金)は四番町図書館にも出動!

講演会「南極における気象観測の変遷」

9月7日(金) 18:30～20:00

9階=特設会場 ※申込制

極寒の地、南極での気象観測の意義と成果。そして、日本の観測を通じて発見されたオゾンホールへの仕組みについて、現場経験者でもある気象庁南極観測事務室室長が語ります。

おはなしトレイン・BOOK TRAIN展示

7月21日(土)～8月31日(金)

9階=第2展示ウォール

10階=児童書コーナー

乳幼児から中学生におすすめの本を年齢(学齢)ごとに展示します。

過去の様子▶



児童書テーマ展示

開催中～8月31日(金)「夏休みにおすすめの本」

10階=児童書コーナー

9月1日(土)～9月30日(日)「まんまるおつきさまの本」

10月1日(月)～11月11日(日)「どくしょの秋」

ほかにもイベントを多数開催!
詳しくはホームページで。

図書館からこの一冊

『琥珀の夢 小説 鳥井信治郎』上・下

伊集院 静 著 (集英社)

サントリーの創業者、鳥井信次郎の生涯を描いた力作です。信次郎が薬問屋での丁稚奉公時代に、奉公先の主人と共に合成酒の研究に明け暮れたことが、サントリーの前身である寿屋洋酒店の誕生に繋がります。満二十歳で開業し、商人として頭角を現す信次郎には、生来の商才があったのでしょう。また、努力を惜しまず苦境にあっても信念を貫く精神力と、縁のあった人達を大切にしている人間性こそが、後世に名を残す偉大な経営者となった所以だと感じました。働き盛りのビジネスパーソンだけでなく、これから社会に出ていく学生にとっても、仕事への姿勢や人との関わりについて、必ず得られるものがあるはずです。一人でも多くの方に読んで頂きたい作品です。

(サービス担当・坂本)



区立図書館の中で、子ども向けの本を最も多く揃えている四番町図書館

住宅街に立地する四番町図書館は、近隣にお住まいのお子さんの来館がとても多い図書館です。そのため、館内には靴を脱いで過ごせる「こども図書館」(約100m²)を設けており、絵本や児童書約1万6千冊や子育てに関する本約600冊をじっくり読むことができます。一般書架側には、アメリカの児童書で文化交流を図る「アメリカン・シェルフ」(米国大使館寄贈)があり、約120冊の英語の児童書を揃えているほか、中高生向けの本を揃えたコーナーも設けています。赤ちゃん連れの方には使い勝手のよい、広めのくつろぎスペースを併設した授乳室もあるので、毎週開催しているおはなし会やイベントへお気軽にご参加ください。

調べもの戦隊 レファレンジャーが四番町図書館に出動!

子どもたちの本探しや調べものを助けてくれるレファレンジャーが、四番町図書館にも出動します。当日お気軽にお声かけください。

出動日：8月6日(月)～10日(金) 各日9:00～17:00



千代田区立図書館トピックス

ご利用案内

■ ホームページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp>

■ Facebook <https://www.facebook.com/lib.chiyoda>

千代田図書館

千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10階 ☎03-5211-4289・4290

開館時間 月～金 ▶10:00～22:00 土 ▶10:00～19:00

日・祝 ▶12/29～12/31 ▶10:00～17:00

※夏期は9:00開館

休館日 第4日曜日、1/1～1/3、特別整理期間

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線

「九段下」駅 4・6番出口より徒歩5分

日比谷図書文化館

千代田区日比谷公園1-4 ☎03-3502-3340(代表)・3343(図書フロア)

開館時間 月～金 ▶10:00～22:00 土 ▶10:00～19:00

日・祝 ▶10:00～17:00

休館日 第3日曜日、12/29～1/3、特別整理期間

四番町図書館

千代田区四番町1 ☎03-3239-6357

開館時間 月～金 ▶9:00～20:00 土 ▶9:00～19:00

日・祝 ▶12/29・30 ▶9:00～17:00

休館日 第1日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

昌平まちかど図書館

千代田区外神田3-4-7 ☎03-3251-5641

開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00

休館日 第2日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

神田まちかど図書館

千代田区神田司町2-16 ☎03-3256-6061

開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00

休館日 第3日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

千代田Web図書館

URL <https://www.d-library.jp/chiyoda> ※電子書籍の貸出サービス

ちよだパークサイドプラザ 区民図書室

千代田区神田和泉町1

☎03-3864-8931

開館時間 月～土 ▶9:00～19:00

日・祝 ▶9:00～17:00

休館日 第3日曜日、年末年始、特別整理期間

関連施設

千代田区男女共同参画センター MIW

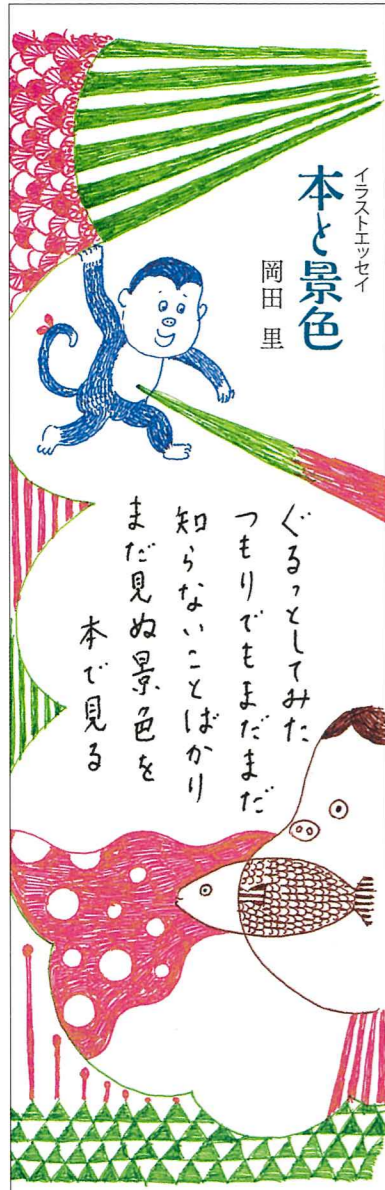
千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F

☎03-5211-8845

開館時間 月～金 ▶9:00～21:00

土 ▶9:00～17:00

休館日 日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間



イラストエッセイ
岡田里

ぐるっとしてみた
つもりでもまだまだ
知らないことばかり
まだ見ぬ景色を
本で見る

コンシェルジュが
ゆく

図書館
コンシェルジュが
楽しい街情報を
おすすめ!



歴史をもつ千代田区の橋

今年、千代田区に新しい橋「竜閑さくら橋」が開通しました。千代田区は、お濠に囲まれていることから、さまざまな歴史をもつ橋が50本以上架かっています。今回は、各図書館の近くにある橋を紹介します。

◆図書館バックヤード◆

千代田区立図書館には、区立の児童館・こども園・保育園・幼稚園・小学校・中学校へ伺って、子どもを中心に、保護者や先生の読書サポートを行ったり、図書環境を整えたりしている学校支援担当司書がいます。小・中学校へは週3回、その他は月2回訪問しています。



▲授業風景
サポート内容は子どもの年齢に合わせてさまざまですが、小・中学校では、図書館の整理をはじめ、図書館や本の使い方のオリエンテーションや調べ学習のお手伝いをしたり、読み聞かせや本を紹介するブックトークを行ったりしています。また、子どもたちの目を引くような図書の展示コーナーを設けるなどして、子どもたちが本に興味を持つきっかけ作りもしています。



▲展示の様子
サポートの対象は、子どもたちだけではありません。先生が授業で使う資料を探すこともあれば、保護者向けに読み聞かせ講座などを行うこともあります。このように、定期的に顔を合わせていることから、子どもからも先生からも気軽に声をかけてもらえる存在です。



▲授業風景
学校などが夏休みの間、学校支援担当司書は、千代田図書館のレファレンジャーに変身して、子どもの本探しの助っ人として活躍します。お子さんが夏休みの宿題に行き詰まることがあったら、迷わず千代田図書館へお越しください。

Spot 1 千代田図書館付近 清水門の橋

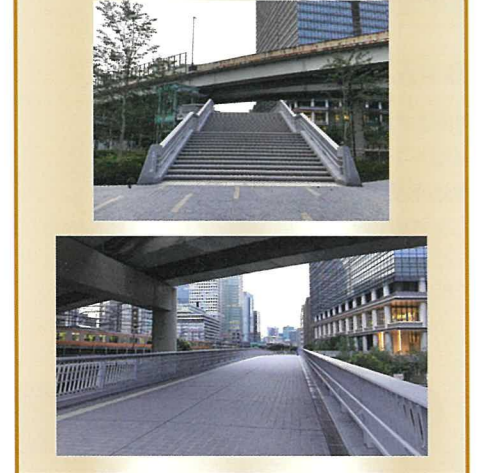
設置場所：九段南一丁目～北の丸公園
千代田図書館向かいの清水濠に架かる橋で、古くは清水土橋と呼ばれていたそうです。橋につく清水門(国指定重要文化財)の創建年代は不明ですが、元和6年(1620)には存在していたという記録が残っています。枳形門が構築されたのは寛永元年(1624)ですが、明暦3年(1657)の大火で類焼したため、現存しているのは万治元年(1658)に再建されたものです。



2018年3月23日
開通

竜閑さくら橋

設置場所：大手町二丁目～中央区日本橋本石町四丁目
これまで他の橋へ迂回しないと移動できなかった神田駅方面と大手町地区を結ぶ約120メートルの歩行者専用の橋が開通し、行き来しやすくなりました。かつてこの付近には「竜閑(龍閑)」という名称がついた川や橋が存在したことから「竜閑さくら橋」と名付けられました。



Spot 2 まないばし 俎橋

設置場所：九段北一丁目～神田神保町三丁目
靖国通りの九段下と神保町を結ぶ俎橋は、江戸時代初期から現在地の辺りにあったようですが、架橋の時期や当時の形状など詳しいことは不明です。名称についても、板を2枚並べた橋の通称だとか、本来は俎橋という名称だが近くにあった俎橋と誤って呼ばれるようになったとか諸説あります。江戸時代には、橋の近くに御台所町があったことから大橋・魚板橋と呼ばれていたこともあるようです。昭和4年に震災復興橋梁としてコンクリートのアーチ橋が架けられた後、昭和58年(1983)11月に鋼の桁橋に架け替えられて現在に至ります。



Spot 4 さくらだもん 桜田門の橋

設置場所：霞が関二丁目～皇居外苑
霞が関二丁目にある警視庁前の桜田門から、国指定重要文化財でもある桜田門に架かる土橋です。江戸時代、桜田門は外桜田門、皇居外苑を挟んで反対側にある桔梗門を内桜田門と称し、大名登城路として利用されていました。門は寛永期に創建されたようですが、現在の門は、寛文3年(1663)に再建されたものを基に、関東大震災後に復元されたものです。万延元年(1860)3月3日、桜田門外の変で井伊直弼が水戸浪士に暗殺された場所は、現在の警視庁前通りです。

Spot 3 いわいたばし 祝田橋

設置場所：霞が関一丁目・日比谷公園～皇居外苑
日比谷公園・霞が関一丁目と皇居外苑南側を結ぶ土橋です。現在は内堀通りの一部のため、橋というより道路というイメージの方が強いかもしれません。明治39年(1906)、日露戦争勝利記念の凱旋道路開通の際に、架けられました。橋名の由来は、昭和42年3月31日まで、現在の皇居外苑が祝田町という町名であったことによります。



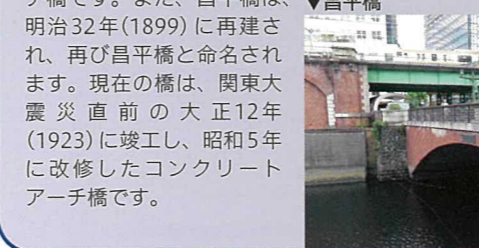
Spot 5 いちがやばし 市ヶ谷橋

設置場所：九段北四丁目～新宿区市谷八幡町6
JR市ヶ谷駅前から新宿区に通じる靖国通りにかかる橋です。江戸時代は、現在のJR市ヶ谷駅付近に江戸城外郭門のひとつである市谷門がありました。初めて架橋されたのは寛永年間(1624～1644)といわれています。濠ごとに水面の高さが異なるため、橋は堰堤とつながっています。現在の橋は、昭和2年(1927)12月11日に架橋された、長さ36.4メートルのコンクリート橋です。東京メトロ市ヶ谷駅構内にある「江戸歴史散歩コーナー」では、史跡江戸城外堀跡での地下鉄工事で出土した遺跡や石垣、江戸城外堀の工事の説明などの展示をしているので、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



Spot 6・7 昌平まちかど図書館・神田まちかど図書館付近 昌平橋・万世橋

設置場所：〈昌平橋〉外神田一丁目～神田淡路町二丁目 / 〈万世橋〉外神田一丁目～神田須田町一丁目
神田川に隣同士で架かる橋です。その歴史は古く、昌平橋は寛永年間(1624～1644)に架橋されたといわれており、万世橋は延宝4年(1676)に架けられた筋違橋から始まります。昌平橋の名の起こりは、元禄4年(1691)に徳川綱吉が湯島に聖堂を造営し、孔子の故郷である中国の魯の国昌平郷にちなみ、昌平橋と名付けるように命じたといわれています。明治維新後、相生橋と改めましたが、明治6年(1873)に洪水で流されてしまいました。一方、万世橋は、明治5年(1872)、やや上流にあった筋違橋が筋違橋門とともに撤去され、その翌年、筋違橋門に使われていた石を利用して、同じ場所に東京初の石橋の一つ、萬代橋が架橋されました。後に呼び名を「まんせいばし」と変えますが、明治39年(1903)に万世橋駅工事のため撤去されます。現在の橋に近い場所に架橋されたのは明治17年(1884)で、当初は木橋でした。その当時は昌平橋と呼ばれていましたが、新万世橋、万世橋と名前を変えています。現在の橋は、昭和3年(1928)12月8日に架けられたコンクリートのアーチ橋です。



下記資料で千代田区の橋を知ることができます。

- 書籍
『千代田区の坂と橋—江戸・東京の地形—』
千代田区立日比谷図書館文化財事務室 / 編(千代田区教育委員会) 所蔵資料コード: 1080178336
『東京の橋—生きている江戸の歴史—』
石川 隆二 / 著(新人物往來社) 所蔵資料コード: 100614031
- 千代田図書館作成の「調べ方ガイド」
千代田区立図書館ホームページトップ > 調べ方の相談 > 調べ方ガイド(パスファインダー) > 「千代田区の橋について調べる」※館内でプリント配布中
【URL】 <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/findbook/theme/pathfinder/>